

教育理念	一 真理の探究 一 自他の敬愛 一 責任の完遂		
学校教育目標	1 現代社会におけるグローバル化・情報化の進展や産業技術の発展をふまえるとともに、生涯にわたる人間形成の基礎を培い、多様な科目を開設して生徒の個性を伸ばさせる。 2 将来の職業選択を視野に入れた進路設計への自覚を深めさせ、社会の変化に主体的に対応できる心身ともに健康な人材を育成する。 3 マンツーマン指導を基本として、個々の生徒の興味・関心・能力・適性及び進路等にきめ細かく対応し、それぞれの希望する進路実現を支援する。		
中期目標	(1) ライフプランを考え、第一希望で進路実現させ得る組織的な学校づくり (2) 体系化されたキャリア教育のシステムによる「生きる力」を育成する学校づくり (3) 授業等の様々な学習活動を通じて、健康な心身と体力を育成する学校づくり (4) 地域社会と連携し信頼される、開かれた学校づくり (5) 知識の確実な定着と実践的思考力を養う、魅力ある授業の研究 (6) 特色ある系列と進路実現に有効な科目選択の研究	総合評価	
今年度の重点目標	① 適切な科目選択や系統的・体系的キャリア教育の展開、学力向上による進路実現を目指す取り組み ② 生徒の知識の定着と実践的思考力の涵養や、探究的な活動を支援するための、多面的な学習評価とICT活用の研究 ③ コロナ禍における地域、保護者との連携、中学校との情報交流による開かれた学校づくり ④ 生徒に寄り添い、いじめや体罰のない、安心安全な環境の確保		

部署別重点目標

部署	今年度重点活動(評価項目)	重点目標	到達目標(評価の観点)	評価	成果と課題	改善策
教務	1 生徒が安心して学校生活を送り、確かな学力と豊かな人間性を育めるよう他部署との連携を図り、円滑な学校運営を行う。	①②④	ア. 新型コロナウイルスの感染状況に対応した月暦・日課等の作成と周知徹底 イ. 授業研究・授業公開の実施、サポート ウ. 各種研修の推進、サポート			
	2 本校の教育内容の充実を図り、その成果を積極的に保護者、地域、中学生に発信し、地域に理解され信頼される学校作りを目指す。	②③	エ. 公開授業および体験授業の充実 オ. 中学生向けの出前授業・進路講話を実施し本校に対する関心を高める。 カ. Webサイトの活用、ブログの発信等による本校の活動の紹介 キ. 中学校訪問等を通じた、本校の特色や入学者選抜の中学校や中学生への周知			
進路指導	1 各部署とのつながりを意識し、体系的・組織的に指導できる体制を整える。職員間で情報の共有を図る。	①②	ア 進路意識の向上、基礎学力の定着を図るため、各部署と連携してより効果的な取り組みを考える。 イ 総合型選抜や共通テストなど新しい入試制度の情報を収集し、職員間で共有、対応できるようにする。 ウ 学びの基礎診断ツール(スタサポ、模試)の効果的な活用を研究、実践する。 エ 各科目ごとの観点別評価規準を準備、作成する。 オ ICTを利用した学習支援(Google Classroomなど)の研究や活用に取り組む。			
	2 自らの目標、進路実現に向けて、主体的に行動できる生徒の育成を図る。様々な資格試験等の受験を奨励する。	①②	オ 補習授業(桔梗塾含む)、勉強クラブ、各種検定に意欲的に取り組む生徒を増やす。 カ 進路ガイダンスや進路相談会、オープンキャンパス、企業見学会への積極的参加を促す。 キ 進路通信、志学の時間を通して、進路に関する情報の提供と進路意識の啓発に努める。 ク 生徒一人一人の状況に対応し、進路実現ができるように支援する。			

部署別重点目標

部署	今年度重点活動(評価項目)	重点目標	到達目標(評価の観点)	評価	成果と課題	改善策
生徒支援	1 「対話と共感」、「自立と支援」の生徒指導 ①基本的な生活習慣の確立 ②服装・頭髪等の身だしなみを整える ③貴重品の管理, 携帯・スマホ利用に関する注意喚起 ④交通事故の未然防止	②③④	ア. 職員の共通理解と意識を統一し、生徒への声かけを大事にする。 イ. 学習、行事、生徒会、クラブ活動を通して、学校生活の積極的な意義を見出すよう指導援助する。 ウ. 交通安全指導を折りにふれて行ない、生命を尊重し安全を確認して行動する習慣を確立させる。			
	2 いじめを出さない学校づくり ①いじめに対する未然防止、早期発見、早期対応、再発防止を組織的に取り組む ②常に開かれた相談態勢を整える	③④	エ. 家庭との連絡や相談、スクールカウンセラー等の有効活用などで生徒や保護者を支援する。 オ. HR担任、教科担任、生徒会、クラブ顧問との連絡を密にし、生徒個々の動向を明確に把握できるようにする。			
キャリア教育推進	1 総合学科の特徴を活かして社会の変化に対応したキャリア教育を行う。	①②③	ア 科目選択が生徒にとって自己の可能性を広げる機会となるよう、また新教育課程に則したシステムや指導方法を共有し工夫することができたか。 イ 自分の活動や学習の振り返りを通して自己への理解を深め、社会への関りや貢献について考えを深めることができたか。			
	2 キャリア教育に係わる「探究的な学び」を計画・実行する。	①②③	ウ 生徒が将来の目標を見出したり、生き方を見通しながら、主体的に学びへ向かう姿勢を養うことができたか。 エ 各年次の繋がりを考慮しつつ、各学年において講演、体験、フィールドワーク、研究調査、発表を効果的に取り入れた学習活動を実施できたか。			
	3 地域との連携を深め、総合学科高校としての本校の魅力を高める。	①②③	オ 「シオジリ学」の活動を通じて地域への理解を深めるとともに、フィールドワークや体験型学習などでは積極的に地域の資源を活用しながら連携を深めることができたか。 カ 総合学科の魅力や特徴、また生徒の活動の様子や学習成果を広く発信することができたか。			
生徒会	1 生徒会活動に参加することにより、豊かな人間性を育て、相互理解を深める。	①②④	ア 生徒会活動を通し、生徒相互の関わりを深め、コミュニケーション能力の向上を図る。 イ 目標の達成を目指し、継続的な努力をする事で、高校生活に対する達成感を持たせる。			
	2 生徒会活動に参加することにより、豊かな人間性を育て、相互理解を深める。	①②④	ウ 明確な目的を持たせ、立案、企画運営を行わせる事で、リーダーとしての資質を向上させる。 エ 生徒会活動を通し、ひとりひとりの役割を理解することで、互いに協力する関係をつくる。			
図書・視聴覚	1 図書館運営の充実を図る。	①②④	ア. 図書館利用の活性化を図る。 イ. 生徒の読書活動の向上を図る。 ウ. 図書委員会による積極的な広報活動を行う。 エ. 生徒の探究活動に沿った蔵書の拡充を図る。			
	2 視聴覚教育の充実を図る。	①②④	オ. 視聴覚教室・視聴覚機材の教育活動への利用拡大を図る。 カ. 芸術鑑賞の円滑な運営を行う。 キ. 芸術鑑賞を通して、豊かな心を涵養する。			

部署別重点目標

部署	今年度重点活動(評価項目)	重点目標	到達目標(評価の観点)	評価	成果と課題	改善策
保健厚生	1 校舎内外の美化・清掃の強化および感染症対策の徹底	②	ア. ゴミの分別と減量化・生徒の取り組みの強化 イ. 清掃および感染予防対策の継続			
	2 検診のスムーズな運営と性教育・薬物教育の充実	①②③④	ウ. 保健委員会和職員の協力体制を強化する。 エ. 外部講師の精選と教育方法の研究をする。			
	3 職員厚生の充実	②④	オ. ストレスの軽減とリフレッシュ行事の推進			
渉外	1 総会・学年・学級PTAの安全な実施と内容の充実を図る。	③	ア. 総会・学年・学級PTAの企画を通し情報共有の充実を図る。			
	2 PTA活動参加拡大に向けた広報活動の充実を図る。	③	イ. 研修会や各種行事について状況に応じ臨機応変に成果を上げる工夫を考え充実を図る。 ウ. PTA会報などの内容と広報の充実を図る。			
	3 同窓会と協力し創立110周年記念行事を思い出に残るものにする。	③	エ. 同窓会と協力を密にして創立110周年記念事業の成功に努め、生徒にとって思い出深い催しとする。			
情報	1 ICTを活用して学校教育の充実を図る。	②③	ア ICTを効果的に使い、生徒の主體的・協働的な学びを促す。 イ 授業等におけるICTを活用した指導事例の情報共有を行う。 ウ 学校ウェブサイトを活用して学校の情報を発信する。			
	2 ICT環境の整備を行い、校務における情報化を促進する。	②	ア 生徒や教職員がICTを利用できる環境を段階的に構築する。 イ ICT活用による資料等の電子化を推進して、業務を効率化する。			
1学年	1 基本的な生活習慣の確立	①②③	ア. 安定した生活のリズムをつくらせることができたか。 イ. 家庭との連絡が密にとれたか。			
	2 学習習慣の確立	①②③	ウ. 家庭学習の習慣化に向けてはたらきかけができたか。 エ. 学習意欲を高めさせ、科目選択への意識付けができたか。			
	3 相互理解を深める	②③④	オ. 互いに尊重し合える関係が築けるようにアドバイスできたか。			
2学年	1 進路意識の高揚、集団形成と支援体制を整える	①②③	ア. 学年全体、進路希望別、それぞれの集団での学習活動ができたか。 イ. 進路指導部とキャリア推進部の連携によるCPの充実が図れたか。 ウ. 個別に学力・生活状況に応じた相談・助言ができたか。			
	2 研修旅行の充実	②③④	エ. 平和学習・防災学習の充実が図れたか。 オ. 訪問する各地の地理・歴史・文化について理解を深められたか。 カ. 互いに協力し自らの責任を果たし、有意義な研修旅行になるように指導できたか。			
	3 研修旅行の充実	③④	キ. 互いに尊重し合える関係が築けるようにアドバイスできたか。 ク. 家庭との連絡が密に取れたか。			
3学年	1 進路実現への指導、支援体制の充実	①②③	ア. 学習意欲の向上、資格取得へのアプローチを図る。 イ. 個性や適性などに応じた進路指導をする。 ウ. 新入試制度に対応し、受験準備など計画的に活動できるように支援する。			
	2 コミュニケーション能力の向上	③④	エ. 互いに尊重しあえる関係が築けるようにアドバイスする。 オ. 家庭との連絡を密にとる。 カ. 社会の一員となるためのコミュニケーション能力を育成する。			
	3 学校生活の充実と最上級生としての活動支援	①②③④	キ. 学校・生徒会行事において責任ある活動ができるように支援する。 ク. 規範意識を向上させ、社会性を身につけさせる。			